

# 「わが村は美しくー北海道」運動コンクール 応募団体のご紹介(釧路・根室地域)

## 第5回コンクール

【景観部門】 「啄木・雪あかりの町・くしろ」実行委員会 [釧路市]

明治41年1月21日、釧路駅に下り立った石川啄木の心情を詠んだ短歌「さいはての駅に下りたち雪あかり、さびしき町にあゆみ入りにき」にちなみ、啄木が住んでいた「ゆかりの地」釧路市



南大通付近を会場に、アイスクヤンドルを設置して、当時の雰囲気を出し出すイベント「啄木・雪あかりの町・釧路」を開催しています。このイベントは、市民が主体となって実行委員会を運営し、各自が作ったアイスクヤンドルを持ち寄って市内の大通り沿いに設置するものです。「雪あかり(アイスクヤンドル)が並ぶ界隈は、市民の交流の場になると共に、市民が楽しめる新たな冬の釧路の景観となっています。

【景観部門】 (社) 釧路青年会議所 [釧路市]

かつて世界中を航海する船乗りが、バリ、マニラと並び「世界三大夕日」と称した「くしろの夕日」。この素晴らしい景色に着目して、様々なイベント開催やPR活動を展開しています。



これらの活動を契機に、「くしろの夕日」が観光資源として、地域活性化に繋がっていくように、地域内外へ情報発信を続けていきます。

釧路夕日プロジェクトの主な活動内容  
夕日フォトコンテスト、夕日音楽祭、PR事業、市民参加型事業、夕日ビジョンの作成、夕日シンポジウム開催

【景観部門】 中山間浜中別寒辺牛集落 浜中緑の回廊 [浜中町]

「営農活動と自然の調和」を目指して、多様な生物がいる農村環境の回復・保全を図るため、各種活動を通じて自然豊かな農村環境の創造に取り組んでいます。多様な生物にとって生息しやすい環



境を作るため、森、川、湖沼、湿原を結ぶ線上の農地に植林などを行い、生物の通り道「緑の回廊」を作る取り組みをしています。三郎川の取水堰において、魚が遡上できるように、地元のボランティアが集まり、手作りの魚道を設置しました。

【景観部門】 小屋カフェ ハートンツリー [鶴居村]

大自然を360度見わたせる小屋カフェ「ハートンツリー」は、「本当においしいものを手作りで」をコンセプトに地場産のミルクや小麦粉、野菜などを使用して、おいしくて安全な手作り料理



にこだわっています。「農村にある小さなカフェで、手作り料理を食べながら、ゆったりとしたひとときを過ごしてもらいたい」との思いで始めた小屋カフェです。また、農業体験や小動物との触れ合いが出来る「ファームイン」・「ホームステイ」を通じて、ここを訪れた人々の間で、国内、国外・農村・都市の垣根を越えた交流の輪が広がっています。

【景観部門】 野付漁業協同組合 [別海町]

野付湾で夏と秋に行われる、帆打瀬舟による北海シマエビ漁は、野付湾の伝統的な風物詩となっており、漁法そのものが野付湾の景観を形成しています。海藻に覆われた水深1~5mの野付湾は知る



人ぞ知る北海シマエビ漁のメッカです。シマエビの住処である海藻をスクレーパーで傷つけないようにするため、「帆打瀬舟」を使った漁法を守り続けています。三角帆で風を受け、海面を滑るように進む船の姿を見ることが出来ます。エビ資源の管理のため、大型低気圧等が接近した際には、アマ藻の流出を防ぐため、土嚢を設置して静穏域を作るなど、藻場の保護に取り組んでいます。

【景観部門】 上風連みどりネットワーク [別海町]

農村環境の保全質的向上を図る目的で、上風連地域において、住民参加型の環境保全活動に取り組んでいます。「農道の草刈り、農道沿いの花壇整備、樹木観察路の整備及び観察会の開催、河川周



辺の水質調査、植樹活動」地域住民が参加して、樹木観察路「みるみるの森」を造成しています。樹木移植、観察路造成及び樹名板設置などの整備も進めています。また、子ども達が植樹活動等を通じて環境問題に関心を持ってもらえるように、学校の教育活動との連携を図っています。

【地域特産品部門】 釧路町立昆布森中学校 [釧路町]

釧路町昆布森産の「長昆布」の普及と釧路町発祥のスポーツである「長靴アイスホッケー」の普及を通して、釧路町役場と協働でまちづくり活動に取り組んでいます。◎長靴アイスホッケー弁当



◎長昆布キャラクター制作と販売。長靴アイスホッケー(略して長ホ)を広く知ってもらう目的で「長ホ弁当」を企画しました。弁当容器は長靴型、食材は釧路町産(米以外)のものを使用しています。昆布キャラクターストラップ  
ツッパリ昆布・・・体は雑2等、頭はウニ、現役ヤンキー  
こんボイン・・・体はさお前昆布、Kカップ(昆布のK)  
コンブラザーズ・・・二人の子ども達(三つ子)

【地域特産品部門】 こんぶ娘の工房 [浜中町]

[人の交流部門と重複]

漁協女性部の4人が、浜中で獲れる昆布を原料として、消費者ニーズにあった製品開発を行い、付加価値をつけた各種製品を道内外で販売しています。道東産昆布の知名度アップと消費拡大のため、都市部のイベント会場でのPR販売など積極的な販売促進活動を行っています。



ネコアシコンブ使用「手削りおぼろ昆布」「だし昆布」  
トロロコンブ使用「根性とろろ」  
ナガコンブ使用「一本勝負」「なが切り昆布」「アレンジ昆布」  
さお前コンブ使用「早乙女ちゃん」

【地域特産品部門】 北海道標茶高等学校 [標茶町]

[人の交流部門と重複]

「地産地消」「安全安心」を基本とした地域ブランド「グラスランド」製品の開発・地元産の牛乳等を原料として安全安心な地域ブランド加工品の開発に取り組んでいます。基盤産業である酪農産



業と自然環境の共存を目指す「地域と共に学ぶ環境教育」の推進・自然と産業の調和を目指した「釧路湿原再生プロジェクト活動」において、水生植物による水質浄化システムに係る活動に取り組んでいます。学校の自然環境、教育施設を活用した地域との交流・地域と積極的に交流を進めながら「農・食・環境」について住民とともに学び、郷土の持つ豊かな環境を保全再生しながら持続可能な社会を発展させることに貢献しています。

【地域特産品部門】 てしかがえこまち推進協議会 [弟子屈町]

[人の交流部門と重複]

町民の暮らしを健康で文化的なものにする事業の一環として、観光に係る施策を総合的かつ効果的に推進し「誰もが自慢し誰もが誇れる町」づくりに取り組んでいます。「弟子屈ならではの観光」



をテーマに町を訪れた人がそこに暮らす人々との触れ合いの中で自然、食材、温泉などを楽しんでもらえる観光を目的として、地域住民の協力を基に取り組んでいます。  
エコツーリズム推進部会  
人材育成部会  
環境・温泉部会  
女性部会 他4部会

【地域特産品部門】 根室・室根交流の会 [根室市]

[人の交流部門と重複]

根室市と岩手県一関市室根町は、逆さ地名が縁で平成11年度から様々な分野(スポーツ、地域特産物、郷土芸能等)での親善交流を続けています。スポーツ親善交流として、それぞれの地域で開催さ



れるマラソン(ノサップマラソン、厚床駅伝、荒祭大祭マラソン、町内駅伝)に相互参加して、交流を深めています。地域特産物の交流として、室根町の「学校給食」に根室産の昆布を使用したり、根室市の学校の「餅つき大会」用に室根町から特産餅米が送られてきたことが契機となって、小中学校間の交流が生まれています。また、室根町で、室根産の鶏肉と根室産の昆布を使った「根室昆布丼」が誕生し岩手県内の雑誌で「丼132選」に選ばれています。

【地域特産品部門】 中標津手打ちそばささ藪学校 [中標津町]

[人の交流部門と重複]

中標津町は、土壌や気象条件が「そば」の栽培に適しており、近年、作付面積が急増(H18:4ha→H21:160ha)しています。それにともない、製粉会社2社が設立され、そこで作られるそば粉



は道内外に出荷されています。全国麺類地域間交流推進協議会の会員として、釧路管内唯一の「素人そば打ち段位認定試験」を実施しており、根室管内でそば打ち有段者を100名以上認定しています。今後も認定試験を通じて、手打ちそばの技術者普及に取り組んでいきます。地産地消の観点から、地元産のそば粉と牛乳を使った手打ちそばの試食を行うイベント開催や、JAとの連携により地場産品を使った特色あるメニューの開発に取り組んでいます。

【人の交流部門】 東北海道うま会議 [釧路市]

「エンデュランス競技」は、馬のスピードと耐久性を試す競技で、広大な釧路湿原を取り巻く深山の中で行われ、道内外から多数の参加があります。競技を通して、釧路湿原の雄大さとその周辺の手つかずの自然を楽しんでもらうことができます。また、「ホーストレッキング」は、乗馬がはじめての人でも参加できるサポート体制をとっており、より多くの人に乗馬を楽しんでもらうための取り組みです。「たんちょう釧路空港騎馬隊」は、騎乗した隊員がたんちょう釧路空港に到着した観光客を出迎え、釧路が馬産地であることのPRと馬との触れ合いを通して観光客との交流を図る取り組みです。



【人の交流部門】 釧路港舟漕ぎ大会実行委員会 [釧路市]

釧路川(釧路港河口付近)を利用し市民参加型の舟漕ぎ大会です。この大会を通じて多くの市民に釧路川の自然運河としての素晴らしさを知ってもらい、憩いの場として利用してもらうことを目的としています。また、この大会が釧路の元気・活気・景気につながりその輪が全道に広まっていくことを目指しています。競技は1チーム8名が船を漕いで片道100mの距離を往復するタイムレースです。舟には舵がないため、漕ぎ手同士のチームワークが重要で息があわず迷走する船があったりと、ハプニングに富んだ楽しめる大会です。



【人の交流部門】 釧路港おもてなし倶楽部 [釧路市]

釧路港に入港する旅客船の乗客に対して、官民が一体となって釧路らしい多種多様な「おもてなし」を行い、みなとまち釧路の魅力アップに取り組んでいます。旅客船の入港時に「釧路港おもてなし倶楽部」のメンバーや地元の親子連れなどが出迎え、出港時にも見送りをを行います。また、おもてなし広場を開設して、炉端焼きなどの出店や、特別ステージでのライブ、子どもミュージカルを上演しています。「耐震旅客ターミナル」が平成23年春に完成する予定であり今後寄港する旅客船が増えることが予想されます。この取り組みによる港界隈のにぎわいを市街地中心部の活性化へつなげていくことを目指しています。



【人の交流部門】 鶴居村あぐりねっとわーく [鶴居村]

欧州に似た牧歌的風景が広がり、丹頂鶴が舞う「酪農郷鶴居村」。この村で、ファームステイ(農家民宿)や農業体験を通じて心が通い合う滞在(体験)型観光を展開しています。これらの取り組みから生まれる人と人との繋がりが、農村での生活をより心豊かなものにしていきます。

- ・ファームステイ(農家民宿)
- ・各種イベントにおける搾乳、羊毛刈り体験
- ・農業体験を通じての海外青年との交流
- ・村内小学生への体験プログラム



【人の交流部門】 (株) 鶴居村振興公社 [鶴居村]

鶴居運動公園広場内に地域特産品直売所「わくわく館」を常設して、「わくわく!むらびとバザール」を開催。また、各種イベントを開催しています。これらの活動が地域に住む人々と都市住民との交流の場になっています。個々の活動を、ある期間一堂に会してイベントとしてPRし、相互連携から生まれる相乗効果を生かしてこの小さな村に住む”むらびと”から「ここだから、ここならではの豊かさ」を発信しています。「わくわく!むらびとバザール」開催期間4月末~10月末(土、日、祝日に営業)



【人の交流部門】 歯舞地区マリナビジョン協議会 [根室市]

根室市歯舞地域の活性化を図るため、さまざまな活動に取り組んでいます。豊かな自然環境や景観を活用した観光振興策の一貫として、漁協の指導船を利用した遊覧船を運営しています。都市圏での「さんまロール寿司」のPR販売を通じて、観光地「歯舞」の知名度アップを図っています。根室の基幹産業である水産業に関心を持ってもらうため、地元小学生を対象にした水産教室(地引き網教室)を開催しています。また、魚食普及のため高校生を対象にした「浜の母さん出前料理教室」を開催しています。



【人の交流部門】 別海町パイロットマラソン実行委員会 [別海町]

道内で最初に公認された歴史あるフルマラソンです。コースは、別海町の一大酪農地帯の中を駆け抜けるもので、「日本一直線の長い公認マラソンコース」になっています。おいしい空気を吸いながら、走った後は地元食材を使った料理が振る舞われ、完走者には地元産の秋アジや乳製品がプレゼントされます。「日本一あたたかいおもてなしの大会」を目指して、町ぐるみでランナーを向かい入れ、町民大会運営のボランティアとして多数参加しています。フルマラソンの参加人数は6年連続で前年を上回り平成21年度は、1,114名が参加して、完走者は997名でした。



【人の交流部門】 北海道中標津農業高等学校 [中標津町]

食育学校や地産地消による食品開発等、地域産業を活かした交流を推進することで今後も地域との確かな連携を構築し、自然と調和した美しい環境のまちづくりと環境調和型酪農農業への取り組みを発展させていきます。

- ・次世代を担う小中学生を巻き込む地域連携
- 「多世代・年間継続型の計根別食育学校の運営」
- 「花と緑で彩る計根別ミルクランドまちづくり」
- 花と緑で美しい酪農環境まちづくりと地産地消の推進—
- 「持続可能な循環型社会に向けた環境教育の推進」

